

厚生文教委員会報告書

平成31年2月26日

備前市議会議長 立川 茂 殿

委員長 中西 裕 康

平成31年2月26日に委員会を開催し、次の案件を協議したので議事録を添えて報告する。

記

- 1 プレミアム付き商品券事業について

厚生文教委員会記録

招集日時	平成31年2月26日（火）		定例会初日散会后	
開議・閉議	午前11時52分	開会	～	午前11時55分 閉会
場所・形態	委員会室A・B	会期中（第1回定例会）の開催		
出席委員	委員長	中西裕康	副委員長	青山孝樹
	委員	橋本逸夫		守井秀龍
		西上徳一		森本洋子
		星野和也		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	立川 茂		
	委員外議員	なし		
	紹介議員	なし		
	参考人	なし		
説明員	保健福祉部長 兼 福祉事務所長	山本光男	社会福祉課長	丸尾勇司
	子育て支援課長	眞野なぎさ		
傍聴者	議員	土器 豊	藪内 靖	石原和人
	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午前 11 時 52 分 開会

○中西委員長 定例会初日でお疲れの中、御出席いただきありがとうございます。

ただいまの御出席は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会いたします。

本日はレジュメにありますとおり、プレミアム付き商品券事業について執行部より御説明をいただきます。

○丸尾社会福祉課長 この事業は、国の政策として消費税、地方消費税引き上げが低所得者、子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起、下支えするため低所得者、子育て世帯向けのプレミアム付き商品券の発行するものです。

対象者としましては、平成31年1月1日時点の住民のうち平成31年度住民税が非課税である者、ただし住民税課税者の生計同一の配偶者、扶養親族、生活保護受給者を除きます。次に、平成31年6月1日時点の住民のうち平成28年4月2日以降に生まれた子が属する世帯の世帯主。この対象者から、購入の申し込みがあった場合に商品券を販売するものです。

商品券の利用可能額は、2万円の購入額で2万5,000円の利用ができるというものです。

市内の対象人数としましては、住民税非課税の対象者と子どもの数を合わせて約8千人ぐらいになるかと思えます。

この予算は、6月の補正予算に計上させていただくこととなりますが、その準備を行うための予算として今年度一部を計上させていただきますのでよろしくお願いをいたします。

○中西委員長 説明が終わりましたが、質疑はありますか。

○守井委員 今年度補正ということは30年度の補正ということなんですけども、国の事業ということで当然国からの事業費も下りてくるんじゃないかと思うんですけども、30年度に実施して国の補助金は下りてくるんですか。

○山本保健福祉部長 事務経費につきましては全て国からもらえるということになりますが、いつももらえるかというのはここでは申し上げられませんが、100パーセント事務経費については国からもらえるということになります。

○守井委員 30年度の分についてももらえるということで理解してよろしいですか。

○山本保健福祉部長 30年度、31年度全て事務経費は対象ということになっております。

○中西委員長 よろしいですか。

ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で本日の厚生文教委員会を閉会いたします。

皆さん、どうも御苦労さまでした。

午前 11 時 55 分 閉会